

事業名	食育推進費			調書番号	11
細事業名	食育ボランティア研修費	財務コード	714203		
担当部課室	県民生活 部 消費生活安全 課 食の安全・食育 担当 (内線)			2272	

事業の概要

実施期間	始期 H19 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
目的	だれ(何)を対象に 保育士や栄養士を目指す大学生 その対象をどのような状態にして 研修を通じて食育推進ボランティアとして保育園等で活動する 結果、何に結びつけるのか 小さな子供たちへの食育の推進
内容	保育士や栄養士を目指す大学生を対象として、食育推進ボランティアの仕組みや活動、その成果等食育の推進におけるボランティアの重要性や必要性を理解してもらうための研修会を開催する。 研修会開催回数 3回 平成28年度 開催回数 1回、参加者数300人

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
活動指標	研修の参加者数	目標	345	345	345	345	300	300	300
		実績(見込)	345	345	345	350	300	293	
		達成率	100.0	100.0	100.0	101.4	100.0	97.7	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	保育園・幼稚園でのボランティア活動回数	目標	35	35	35	50	50	50	50
		実績(見込)	40	40	45	47	52	50	
		達成率	114.3	114.3	128.6	94.0	104.0	100.0	
		達成区分	b	b	a	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		52	52	52	52	52	52	26	

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	参加者数の減少は、研修会を大学側で自主的に実施したことや、学生数が年次により増減があったことから、やむを得ない。平成28年度から対象学生が減少したことから、目標値を再設定した。
成果指標	b		目標を超える成果を上げており、保育園・幼稚園における学生によるボランティア活動が定着している。当初の目標をクリアしていることから、平成27年度から目標値を再設定した。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	学生ボランティアの活動を更に活発化し、保育園児等小さな子ども達に対する積極的な食育活動の推進を図る。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(効率的に研修会を開催しコスト削減を検討する余地がある)
その他	説明	
見直しの必要性	有	効率的な研修会の開催により、予算を削減する。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

縮小	説明	開催方法の効率化により、実施回数を3回から2回に変更
----	----	----------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。